

RIETI 中国WTO加盟20周年セミナー
総括コメント資料

2022年5月27日

「中国とWTO 加盟20周年を振り返る」

川瀬 剛志

総括コメント

川瀬剛志
RIETI/上智大学

WTOは中国改革・開放に無力か？

- そうとは言えない → 米国の「期待はずれ」は片面的、例えば．．．
 - WTO紛争解決手続で中国の保護主義的措置の封じ込めに成功
 - 市場アクセスの改善
 - 「世界の工場・中国」を取り込む効率的なサプライチェーン構築
 - 世界最大の市場におけるビジネスチャンスを楽しむ
- 制度面：米国が内向きな姿勢を強めるほど中国のWTOでの発言力は増大
 - ルール形成：2017年以降積極的に関与
 - 上級委員会危機：EUと並んで二審制の上訴制度の維持を支持、更に代替的上訴手続（MPIA）の設立にも協力
 - ディスコースパワーの拡大？

WTOは中国の国内経済制度改革に十分資するか？

- 米国の「期待はずれ」は否めない側面あり：WTO協定は国家資本主義国を前提としないルール、例えば．．．
 - 補助金：エマテクのR&D支援（cf.『製造2025』）や鉄鋼過剰生産能力補助金の規律は困難
 - 政府調達：国有・公有部門の多い中国にも自由化はオプション
 - デジタル：規律なし、目下交渉中
- 解決は？：三極貿易大臣会合等で議論される新ルール形成 and/or CPTPP加入（cf: 政府調達、国有企業規律、デジタル貿易ルール）

デカップリングか、共存か？

- イエレン財務長官の「悩み」？
 - *friend-shoring*のススメ：信頼できるパートナー国間で半導体・リチウムイオン電池・AI・5Gなど戦略物資・技術のサプライチェーン構築や標準化を推進（IPEF、QUAD、米EU TTCなど）
 - 他方で対中301条関税の一部撤廃・削減に言及
- WTO 加盟20年の相互依存の深化でデカップリングは容易ではない：安全保障の観点から中国依存脱却の一方、中国込みの自由貿易体制のあり方を引き続き追求